



## OECD がグリーン成長に関する世界のモデル都市として北九州市を選定 アジア地域で初！

本市と経済協力開発機構(OECD)は、このたび、都市のグリーン成長モデル(環境と経済が両立した都市発展モデル)となる都市として、本市を選定し、その政策等について分析・評価を行うことで合意した。

これは、OECD が昨年から取り組む「グリーンシティプログラム」の一環として、グリーン成長に関する世界のモデル都市の政策や成果を検証し、報告書としてまとめ、全 OECD 加盟国に情報発信することにより、世界のグリーン成長を促進することを目的とするもので、アジア地域でモデル都市に選定されたのは、北九州市が初である。

今後、本市のグリーン成長に関する政策、事業、成果等について、OECD による分析、評価が行われ、その成果は、すべての OECD 加盟国に報告書として配布される。

また、本市として、OECD を通じた世界中への環境情報発信により、「世界の環境首都」の都市ブランドの構築等につなげていく。

### 1. グリーンシティプログラム

世界の数都市をグリーン成長のモデル都市として選定し、各都市での政策等の分析を通じ、成功要因等を見出し、これを報告書としてまとめ、すべての OECD 加盟国(34 カ国)に配布し、今後のグリーン成長政策に活用する。

今後、OECD への北九州市の情報提供、OECD 調査団の来北や分析等が行われ、平成 24 年冬頃までに、北九州市に関する最終報告書がまとめられる予定である。

### 2. 世界で選定されたモデル都市(平成 23 年 7 月現在)

北九州(日本)、パリ(フランス)、シカゴ(米国)、ストックホルム(スウェーデン)

本市は、2008 年にイタリア・ミラノ市で開催された OECD 国際会議に、日本の代表都市として招待され、市長が環境モデル都市の取組みを紹介し、OECD など多くの参加者から高い評価を得た。今回の選定は、日本のトップを走る環境モデル都市として評価されたものである。

### 3. (仮称) OECD「グリーンシティプログラム」北九州チームの設立

本市の政策等を集約、整理や OECD 調査団への対応のため、専門家等からなるチームを、近日中に設置する。なお、地元チームの設置は、OECD プログラムにおいて求められている。



## GREEN CITIES PROGRAMME

### 経済協力開発機構（OECD）グリーンシティプログラム

#### プログラムの目的

---

経済協力開発機構（OECD）は、昨年 6 月から「グリーンシティプログラム」を開始しました。これは、都市のグリーン成長に関する政策が、都市レベルの経済発展と環境の質の向上、さらには、国レベルの経済成長と生活の質の向上にどのように貢献できるのかを評価することをめざしています。

昨年 5 月にパリで行われた OECD「都市とグリーン成長に関する首長と閣僚のための円卓会議」では、参加した首長と閣僚から、グリーン成長に関する政策が与える影響を正しく評価することの重要性、必要性が指摘されました。本プログラムは、世界のモデル都市における政策分析・評価を通じて、この要望に応えようとするものです。

#### プログラムの内容：ケーススタディ、指標、比較分析

---

プログラムは主に次の 4 つの要素により構成されます。

##### 1. コンセプトペーパーの作成（概念整理とモデル都市における分析評価の枠組みの構築）

今年 5 月に発表された OECD「グリーン成長戦略」では、グリーン成長とは「自然資産が今後も我々の健全で幸福な生活のよりどころとなる資源と環境サービスを提供し続けるようにしつつ、経済成長および開発を促進していくこと」と定義されています。本プログラムでは、これを都市レベルで捉え、都市のグリーン成長のあり方に関する概念を整理するとともに、ケーススタディの前提となる分析評価の枠組みを構築し、コンセプトペーパーとして公表します。

##### 2. ケーススタディ（モデル都市における政策分析・評価）

ケーススタディを行うモデル都市は、OECD 加盟国あるいは非加盟国の、地理的、経済的条件の異なる都市の中から選定されます。OECD は、選定されたモデル都市におけるグリーン成長に関する政策について、他都市との比較に基づき分析・評価します。その成果はモデル都市ごとの報告書として公表されるほか、全体報告書にも盛り込まれます。また、モデル都市は、OECD が開催する「首長と閣僚のための円卓会議」に参加し、自らの取組みについて情報発信を行うとともに、他の参加都市、参加国とのハイレベルの意見交換を行います。

##### 3. 都市とグリーン成長に関する政策指標の開発

OECD では、都市圏レベルで比較可能な、環境の質に関する指標（土地利用、交通、大気の質など）の開発を行っています。本プログラムでは、この指標をさらに充実させるため、モデル都市においてデータ収集を行います。

#### 4. 報告書の作成

モデル都市の比較分析の成果は、OECD「グリーンシティ報告書」としてまとめられます。公表時期は、2012 年末から 2013 年前半を予定しています。この報告書は、各国の中央政府、地方政府が、都市レベルのグリーン成長戦略を策定する上で役立てられることを目指しています。

### 問合せ先

---

本プログラムは、OECD 公共ガバナンス・地域開発局（Directorate for Public Governance and Territorial Development）において、OECD 環境局（Environment Directorate）との連携のもとに実施されます。本プログラムに関する問合せ先は次のとおりです。

OECD 公共ガバナンス・地域開発局 地域開発政策課

Ms. Lamia Kamal-Chaoui (lamia.kamal-chaoui@oecd.org)

OECD 東京センター（国内問合せ先）

所長 中谷好江 (yoshie.nakatani@oecd.org)

03-5532-0022（代）